

2022年8月31日

各位

株式会社三井住友銀行

丸紅木材株式会社に「SDGs推進融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、丸紅木材株式会社（代表取締役：清水 文孝）に「SDGs推進融資」を実施いたしました。

「SDGs推進融資」は、融資実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が、企業のSDGs（※）に関する現状の取組状況を確認した上で、本業を通じたSDGs貢献への道すじ（ロジック）を分析し、SDGsの取組推進に向けたアドバイス等をご提供する融資商品です。

今回対象となりました、丸紅木材株式会社については、以下に記す事業を通じて、SDGsの目標達成に向けた貢献が期待できると判断されました。

- ① IKONIH（アイコニー）プロジェクトによる森林資源の効率的な利用、環境授業を通じた森林資源や持続可能性に対する意識の啓発

目標 15 陸の豊かさも 守ろう	15.2 2020年までに、あらゆる種類の森林の持続可能な経営の実施を促進し、森林減少を阻止し、劣化した森林を回復し、世界全体で新規植林及び再植林を大幅に増加させる。
目標 12 つくる責任 つかう責任	12.2 2030年までに天然資源の持続可能な管理及び効率的な利用を達成する。
目標 4 質の高い教育を みんなに	4.7 2030年までに、持続可能な開発のための教育及び持続可能なライフスタイル、人権、男女の平等、平和及び非暴力的文化の推進、グローバル・シチズンシップ、文化多様性と文化の持続可能な開発への貢献の理解の教育を通して、全ての学習者が、持続可能な開発を促進するために必要な知識及び技能を習得できるようにする。

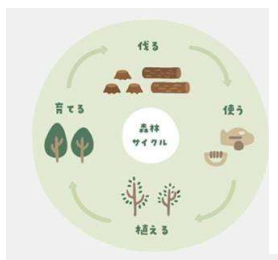
- ② ポプラ LVL（単板積層材）事業を通じた森林による CO2 吸収の促進

目標 13 気候変動に 具体的な対策を	13.2 気候変動対策を国別の政策、戦略及び計画に盛り込む。
---------------------------	--------------------------------

三井住友銀行では、「SDGs推進融資」により、本業を通じ、SDGsが達成される社会の実現に貢献をしております。



変わりゆく労働環境・住宅産業の観点から循環資源である木材（ポプラ LVL）を生かし快適な住環境の実現に貢献していきます。



使われなくなった国産材を有効活用することで、森林サイクルを回復させ、自然災害を防ぐとともに、脱炭素社会に向けた取り組みを行っております。



環境授業として、学校施設やイベントで環境問題に対する森林機能の位置づけを伝え、学習機会の創出をしています。

<ご参考>

※ SDGsとは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットのことです。

以 上